

学校名	鹿骨東小学校	対象学年と人数	全学年 474名
活動名	学校や地域の自然と仲良くなろう		
指導者	学内指導者：本田貞美（副校長）岩崎保佳・中村公美（グリーンプラン担当教員）他全教職員（活動指導） 学外支援者：グリーンボランティア（栽培活動支援）12名 えどがわエコセンターボランティアの皆様7名		

目標

- ・学校や地域の自然（都立篠崎公園・鹿骨親水緑道）の観察等を通して、身近な自然に関心を持ち、自然と親しみ関わりあう子どもを育てる。
- ・花の町鹿骨にある学校として、栽培活動に取り組み、自然を愛する心をそだてる。
- ・地域の環境に関心を持ち、3R活動等を学級で取り組む。

成果

本校では、「鹿骨東小学校ふるさと学習」として、カリキュラムの中に学校や地域の文化や自然に関心をもつ学習を行ってきた。その中でグリーンプランでは「自然と親しむ活動」「花や野菜を育てる活動」「環境をよくする活動」を体験を通して行うことができた。

自然と親しむ活動では、近くの篠崎公園や親水緑道などで生き物探しや自然観察を行い、自然と関わる機会が増え、地域の自然への関心が高まり、地域を愛する心を育てることができた。12月に行った学校教育活動についての保護者アンケートでも、「地域を活用し、多様な体験を行っている」ことが95%以上の保護者から「できている」と評価をいただいた。

今年度より栽培活動を支えるボランティアとして、「グリーンボランティア」を組織し、栽培園などの夏の草取り、水やり活動を支援していただくことができた。子供たちも、中庭の草取りやプランターの水やりなど自発的にし、育てることに喜びをもてる児童が増えた。

落ち葉の時期、学校の周りの落ち葉掃きを自ら進んでする児童も現れて、児童にボランティア精神の成長も見られた。

感想・課題等

2月にはエコセンターの支援で5年生で「地球の環境問題って何だろう？」6年が「燃料電池ってなんだろう？～地球温暖化をふせぐために～」と環境学習を実施する。自然観察をしたり、環境学習出前授業で学んだり、自分から調べたりすることで、身近な環境に関心を持ち、自分との関わりを知ることが、エコ活動やボランティア活動、栽培活動など、自らが参加できる活動へとつながると思う。

インターネットで調べる以外に、実際にその場を観察することや、幅広い知識を得るために図書館を活用することなど、子供たちには自ら積極的に学ぶことができる力を身に付けさせたい。また、エコセンターをはじめとする地域や保護者の協力は子供の学習の大きな支援につながるので、今後も地域や保護者との協力体制を大事にしていきたい。